

フレンドシップ通信Vol.5 東海高校の熱い夏2025

7月5日(土)午後2時5分プレイボール。猛暑の中、攻守の展開にスタンドの全員が一体となって一喜一憂し、今年も東海高校の生徒たちの心に思い出のページが刻まれました。

試合は残念ながら負けてしまいましたが、東海高校野球部のチーム力が現れた瞬間が、一番苦しかった6回裏、石岡商業打線の猛打を受け失点した直後、下を向いてしまいうような場面でしたが、グラウンドには「笑顔でいこう!」「よーしー!」の声が飛び交っていました。苦しい状況でも腐らず、仲間を信じ、自分を信じる。人生において大事なものを選手の皆さんが示してくれました。結果はやっぱり悔しいけれど、選手の姿に心を打たれた人がたくさんいるはずです。

【問い合わせ】地域戦略課こども・わかもの政策担当(☎282-1711 内線1339)

悔いなくやり切った1試合

東海高校野球部3年生(主将)

東海高校野球部はどんな時でも全力で野球に向き合い、先輩・後輩関わらず仲が良い自慢のチームです。試合前、チームとして「悔いなくやり切ろう」と決めていました。結果は負けてしまいましたが、ピンチの時でも最後まで全員が諦めず、声を出し続けられたことにチームとしての成長を感じました。

私たち3年生は、この試合で高校野球に一区切りをつけますが、3年間、多くの方のおかげで野球を続けられたことを実感しています。毎週、練習試合の送迎をしてくれた保護者の皆さん、ご指導いただいた先生方やOBの先輩方、今回も炎天下の中、応援し続けてくれた全校生徒の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

スタンドで全校生徒が一つになる

チアリーディングチーム3年生、応援団3年生

野球応援は学年を問わず、全校生徒が一つになる貴重な機会です。スタンドでの一体感を高めるため、たくさん準備をしてきました。毎日、放課後にみんなで練習して、腹式呼吸で声を出して、動画を見ては修正して…。大変でしたが、3年間チアリーディングや応援団をやってきて自分自身の成長はもちろん、頑張りを見ていてくれる人が必ずいることを感じました。次の代のみんなにも、この、全校応援でしか味わうことができない一体感や達成感を体感してほしいです。